

2 姿勢保持や移動における支援機器

<車いす>

| | 名称 | 写真 | 利点/説明 |
|------|---------|---|---|
| 移動 | 車いす・バギー | <p>① </p> <p>② </p> <p>③ </p> | <p>身体の機能障害により歩行困難になった人の移動に使われる。</p> <p>「自走用」、「介助用」の大きく2つに分類される。</p> <p>①自走用車いす 自力で移動できるよう、自分でタイヤを回すためのハンドリムがついている。後輪が大きい。</p> <p>②介助用車いす 介助者が車いすを押して移動する。後輪は小さめ。</p> <p>③バギー 座位保持の難しい人にも適した移動用車いす。折り畳みができ、持ち運びも簡単である。ティルト機能も備わっている。</p> |
| 座位保持 | プロシージー | <p></p> <p></p> | <p>自力では座位がとれない人に姿勢を保持するための装置。状態に応じた多くのオーダーメイドパーツの組み合わせから構成されるものが多い。</p> <p>利点としては、心肺機能の活性化、変形や拘縮の予防、平衡反応の維持、上肢の操作性の向上などが期待される。</p> <p>また、リクライニングとティルトの機能が備わっている。</p> <p>リクライニング：背もたれのみが倒れる。</p> <p>ティルト：座面と背もたれを一体で倒せる。</p> |

| | | | |
|------------------|--------------------------------------|---|--|
| 座 位 保 持 | ジ ッ ピ ー |  | <p>小児用ティルト式車いす</p> <p>成長に対応して車いすを拡張する成長対応拡張機能が装備されている。身長と身体の幅に対応して拡張する。身体にいつもぴったり合った車いすを使用することで変形をはじめとした二次障害の防止が可能になる。</p> |
| | エ ッ ク ス パ ン ダ |  | <p>背もたれが、座面とは別に独自にリクライニングするダブル・リクライニング機構で、日々の体調に合わせた細かいリクライニング角度の調節ができ、筋緊張が高く、「そり返り」が強い子どものために、背もたれが可動するダイナミック・シーティング機構を搭載。高さ調節ができ、視線を合わせることができる。</p> <p>「そり返り」が強く、なかなか座位保持装置に座ることができない子どもに使用される場合が多い。</p> |
| | ク ッ シ ョ ン チ ェ ア |  | <p>身体全体を包みこみ下半身の関節を深く曲げて座ることができる。リラックスした姿勢を保つことができる。</p> <p>大きさが決まっているので、クッションやタオル類を使い、子どもの姿勢や姿勢保持能力に合わせた支援が必要。</p> |

プロンボード



大きな利点として、伏臥位方向からおしてくる立位支援具で、前方への傾きの調整を行える。
また、視界が広がる、正しい姿勢を保てるようになる(抗重力姿勢の保持)、荷重をかけることで骨や筋の成長を促すとともに、関節の変形を抑える、抗重力姿勢の保持に必要な筋群の力が強化され、少しずつ体幹が「幹」として安定する、筋のストレッチ効果が期待され、上肢の動作や操作をしやすくなる、呼吸循環機能の維持・向上、食べ物の消化や排せつ機能も向上するなど、様々な利点がある。

姿勢保持



大きな利点として、緩やかな側弯の進行、筋緊張の緩和、肺・内臓への圧迫軽減、呼吸・摂食・えん下・排便の向上、体幹の支持(抱きかかえるのが楽)、車いす・カーシートでの倒れこみ軽減があげられる。

プ
レ
ー
リ
ー
く
ん



プ レ ー リ ー 装 着 の し か た

1. プレーリーくんを置きその上に患児を寝かせます。
※ 座位のまま装着しないでください。

2. 骨盤の位置を平行にします。

3. 上肢線骨棘の直下、股関節屈曲を妨げない部位で下部ベルトをしっかり締めます。

4. 下部ベルトをしっかり締め、体幹を下方向に引き体幹が伸びるように牽引をかけます。

5. 牽引をかけた後、両手で側弯を矯正しながらさらに体幹を上方向へと伸ばしていきます。

6. 矯正をかけた後、ハンブを持ち上げながら体幹矯正ベルトを締めます。
※ 締め具合：患児が嫌がらない程度。苦しそうならゆるめる。

期待される効果








- ゆるやかな側弯の進行
- 筋緊張の緩和
- 肺・内臓への圧迫軽減。
- 呼吸・摂食・嚥下・排便の向上
- 体幹の支持 (抱きかかえるのが楽)
- 車いす・カーシートでの倒れこみ軽減










装着時の注意点

- 原則として夜間は装着する必要はありません。
- 座位のまま装着しないでください。
- 装着時間は最初 30 分ぐらいからはじめて、子どもさんの状態をよく注意しながら異常がなければ徐々に長くしていきましょう。
- 注意すべき子どもさんの状態。(痛がっていないか。苦しそうではないか。機嫌が悪いのか。便秘・下痢・嘔吐などがないか)
- 食事の時にはベルトをゆるめてください。
- 時間がたつと「プ
レ
ー
リ
ー
く
ん」がずれることがあります。最初のつける位置を確認して、装着しなおしてください。

バイタルフス高知 TEL 088-861-2332

| | | | |
|------|------------|---|---|
| 姿勢保持 | とりちゃん |  | <p>伏臥位が保持でき、呼吸・排たんの改善、緊張の緩和などの利点がある。</p> <p>(見本をもとに本校で製作したもの)</p> |
| | ニーリングアクション |  | <p>クッションチェアと同様のソフトで低刺激な素材でできている。組み合わせにより、膝立ちや四つ這いに近い姿勢がとれる。ベルトでサポートすることで身体を対照的に整えることができる。</p>  |
| | ラッサルクッション |  | <p>特殊なビーズにより、ポジショニングがしやすく、快適な姿勢を保つことができる。局所に圧が集中せず体圧分散して、痛みや苦痛がなく、呼吸も楽になることが望めリラックスした姿勢がとりやすくなる。</p>  |
| | 三角マット |  | <p>伏臥位や仰臥位、あぐら座位、寝返り、転がり、上体保持、読書などの快適な姿勢保持に使用できる。特に重度の子どものポジショニングに最適である。</p> |
| | らくちゃん |  | <p>身体の前面で支えることができるので前傾姿勢が保持でき、自発的な抗重力伸展活動(地球の重力に逆らって全身を伸ばす活動のこと)を引き出すことができる。また、視野の拡大、自立の促進、上肢機能、目と手の協応性の向上に役立つ。</p> |

| | | | |
|---------|---------------------------------|---|---|
| | バンビーナチェア |  | <p>骨盤パッドが両側から腰まわりをしっかりと支える。パッドの位置や背もたれ角度が調整でき、快適に座れる。</p> <p>(S/M/Lサイズあり)</p> |
| 歩行器 | <p>①SRCウオーカー</p> <p>②ストライザー</p> | <p>①</p>  <p>②</p>  | <p>上体が不安定な人でもサドルと体幹パッドでホールドする事によって安定した前傾姿勢がとれる。テーブルの高さ、体幹パッドの角度、サドルの高さが調節でき、ひとりひとりの身体機能とサイズに合わせて様々な歩行能力に対応できる。</p> <p>①下肢に体重がかからない状態で足を伸ばすと、自然に前進運動ができる。</p> <p>②多方向に進める、一方向に固定、完全固定の3段階のストッパーがついており、歩行能力に合わせてストッパーの段階を選べる。SRCより歩行運動に近い。</p> |
| セラピーボール | <p>バランスボール</p> <p>ピーナツボール</p> |    | <p>脳性まひの人などの機能学習の中で手軽に効果があげられる器具の1つ。伏臥位や仰臥位で乗り、緊張をほぐしたり、身体を伸ばしたりする際に活用できる。また、バランスを取りながら座ることで体幹を鍛えることもできる。</p> <p>空気を抜くことでファシリテーションボールとしても活用でき、揺れ刺激等に使用できる。</p>  <p>仰臥位で乗り、リラックスを目的として使用</p> <p>伏臥位で乗り、四つばい姿勢を行っている。</p> |
| | エアレックス |  | <p>軽い・丈夫・断熱効果が高い・適度な弾力性があり、水に浮くなどの利点がある。滑り止めの効果もあり、身体を動かすときなどに安定して動かすことができる。</p> <p>少し弾力があるため、不安定な要素が苦手な人には不向きである。</p> |

| | | | |
|-----|-------------|--|--|
| | 体圧分散式マットレス |  | <p>心地よい柔らかさと適度な反発力があり、姿勢を保持することができる。</p> <p>局所の圧力を広範囲に分散させることができ、床ずれ防止効果もある。</p> |
| | スライディンググローブ |   | <p>滑りがよく、少ない力で体位変換やベッド上での移動、背ぬき、ポジショニング時の体圧の確認、寝具・衣類のしわ伸ばしなどが行える。</p> <p>親指と人差し指を挟むことにより、グローブが抜けにくく、操作性がよくなる。</p> |
| その他 | まえむきくんベルト |  <p>(本校で手作りしたグッズ)</p> | <p>首を反らせてしまい、立つことが難しい場合、このベルトを使用することで教員の支援がなくても目の前のものに集中しやすくなる。</p>   |
| | 床走行式電動介護リフト |  | <p>車いすへの移乗のときに活用している。</p> <p>また、移乗だけではなく、立位姿勢をとる練習等にも使用し遊びを通して小さいときからリフトに乗ることに慣れる体験をしている。</p>   |

